

感染症発生状況

平成31年3月22日

幼稚園・保育園・認可外保育施設の長様

盛岡市子ども未来部子育てあんしん課長

平成31年3月11日（月）～3月15日（金）の定点における発生状況をお知らせします。

定点23園の対象園児数（定員）は2,716名です。

この週の延べ欠席者数 【園児】419名 【職員】54名

1日あたりの延べ欠席者数 【園児】83名（前々週の1日あたりの延べ欠席者数99名）

欠席理由の主なもの（下記の人数は延べ人数です。）

【園児】症状：熱（144名）、咳・鼻水（59名）、下痢・腹痛（32名）、嘔気・嘔吐（27名）

疾病別：インフルエンザ（69名）、胃腸炎（32名）、溶連菌感染症（19名）、気管支炎・肺炎（10名）

【職員】症状：熱（2名）、頭痛（2名）、下痢・腹痛（1名）

疾病別：胃腸炎（8名）、溶連菌感染症（2名）

溶連菌感染症、リンゴ病がみられます。職員のインフルエンザがなくなりましたが、今後も気を付けましょう。

【症状別の発生状況】

インフルエンザ 玉山，厨川，河北地域で減少。盛南，河南地域で増加しました。

胃腸炎 盛南地域で減少。厨川，河北地域で増加しました。

溶連菌感染症 厨川，河北，都南地域で減少。盛南，河南地域で増加しました。

気管支炎・肺炎 玉山地域で減少。河北，都南地域で増加しました。

【県の状況（3/4～3/10）】

溶連菌咽頭炎は、1月中旬から盛岡市で警報値（定点あたり患者数8人）を超えた状況が続いています。主症状は発熱や咽頭痛で、肺炎や髄膜炎等、小児では、回復期に糸球体腎炎を併発する場合があります。治療の際は医師の処方に従い抗菌薬を飲みきることが必要です。予防には手洗いやうがいの励行と、患者との濃厚接触を避けることが重要です。

感染性胃腸炎は、中部地区で集団感染事例の報告がありました。予防にはせっけんとう流水による十分な手洗いと、患者の吐物や便の塩素系薬剤を用いた適切な処理が重要です。

インフルエンザは減少しましたが、一度かかった人が、その後、別の型にかかることもあるので引き続き注意が必要です。予防にはこまめな手洗いや体調管理、咳エチケットによる感染予防が重要です。

春休みに海外へ渡航される方は、感染症にかからないために正しい知識と予防方法を身に付ける必要があります。厚生労働省検疫所(<https://www.forth.go.jp/index.html>)や外務省海外安全ホームページ(<https://www.anzen.mofa.go.jp/>)等で渡航先の情報を御確認下さい。

【盛岡市医師会（感染症対策委員会）】

質問・相談先 盛岡市医師会幼稚園保育園部会
電話 625-5311 ファックス 651-9822

【担当 盛岡市役所子育てあんしん課育成係 電話 613-8347（ダイヤルイン）ファックス 652-3424】